特集1

ふるさとの環境づくり企業が取り組む CSR情報発信フォーラム 第1回

CSRとは?

CSR(=Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)とは、企業が社会や環境と共存し、持続可能な成長を図るため、その活動の影響について責任をとる企業行動であり、企業を取り巻く様々なステークホルダー(※)からの信頼を得るための企業のあり方を指します。

【経済産業省ホームページより】(※利害関係者のことで、株主・投資家、消費者、取引先、従業員、地域社会など企業を取り巻く社会全体を指す)

日時:平成28年3月29日(火)
場所:新潟ユニゾンプラザ

開催レポート!

主催:新潟県(担当:新潟県立環境と人間のふれあい館)　共催:新潟CSR研究会・一般社団法人あがのがわ環境学舎　後援:新潟商工会議所・新潟県経営者協会・新潟県中小企業家同友会

フォーラム当日は企業関係者や学生など41名の方々からご参加いただきました。

地域貢献を目指す企業の情報発信を考える

阿賀野川流域で公害の発生が確認されてから50年が経過した現在、当時の企業活動とは異なり、環境・人権・地域貢献など様々なCSR活動が盛んです。しかし、せっかくの成果を社会や地域にうまく伝達できていない企業も少なくありません。フォーラム当日は、CSRにおける情報発信の意義やメリット、手法について、様々な企業の実践事例を通じて、参加者の皆さんと共に学びました。

写真下:麒麟山酒造㈱提供

写真上:㈱伊藤園提供

写真上:クラレテクノ㈱提供

第1部 講演
企業と社会との共有価値の創造 -「協創力」が稼ぐ時代-

講師

㈱伊藤園
常務執行役員 CSR推進部長
笹谷秀光(ささやひでみつ)氏

第1部で講演いただいた笹谷氏は、農林水産省を退官した08年に㈱伊藤園に入社し、CSRの国際規格であるISO26000をいち早く取り入れて、同社のCSR施策を大胆に再編した手法が注目されました。

国内荒茶生産量の約25%を扱う伊藤園では、茶葉調達の一部について生産農家などと協働して、高品質な原料の安定調達を実現しつつ、茶農家の経営・雇用の安定化、環境保全型農業の推進、耕作放棄地の解消など、地域社会への様々な好影響を生み出す事業を推進しており、この実践事例が参加者から多くの共感を集めていました。

さらに、これからのCSRは人々の共感や理解を喚起・継続させる必要があることから、昔ながらの陰徳善事ではなく、自社のCSRストーリーを積極的に情報発信する「発信型三方よし」にシフトすべきとの笹谷氏の主張も印象的でした。

写真上・左:㈱伊藤園提供

第2部 発表
県内企業のCSR事例を紹介 新潟らしいCSRを探る

第2部では、新潟県内に事業所を構える企業などが実践する、キラリと光るCSRの取組について、下記3社から事例発表してもらいました。

当日参加者からは「初めて聴く事例ばかりで感動した」との感想を多くいただき、企業がCSRの取組を情報発信する重要性が改めて浮き彫りになりました。

◆当日事例発表された各企業の取組

- ✓ クラレテクノ㈱新潟営業所の介護事業
- ✓ 麒麟山酒造㈱による地元米生産・森林整備
- ✓ 昭和電工㈱・新潟昭和㈱と〔一社〕あがのがわ環境学舎が協働する環境学習プログラム

発表者

クラレテクノ㈱
新潟営業所所長 **齋藤茂雄氏**

クラレテクノ㈱は大手化学企業である㈱クラレのグループ企業で、胎内市に新潟営業所が所在しています。生産・物流業務を主とする同社は、異業種参入の先駆けとして、10年以上前から介護施設「ちゅーりっぷ苑」を運営しています。

次頁で企業取組を紹介!

発表者

麒麟山酒造㈱
代表取締役社長 **齋藤俊太郎氏**

「清酒・麒麟山」で有名な麒麟山酒造㈱は阿賀町に所在する清酒メーカーです。大河・阿賀野川の近くで操業する同社は、日本酒の製造に欠かせないお米と清水を守るため、地元での米づくり・森づくりを積極的に進めています。

次頁で企業取組を紹介!

発表者

(社)あがのがわ環境学舎

かつて新潟水俣病問題で揺れた旧昭和電工㈱鹿瀬工場は現在、昭和電工㈱の関連企業・新潟昭和㈱となって操業しています。近年は環境学舎と協働して、現在の排水処理の仕組みを学ぶ工場見学プログラムを展開しています。

次頁で企業取組を紹介!

フォーラム参加者の感想・意見

- ✓ 伊藤園が地域の中小企業と協力して、地域の発展に取り組む姿勢が印象に残った。
- ✓ 麒麟山酒造の社長が身の丈に合ったCSRが大切と発言されたのが印象に残った。(団体職員・新潟市)
- ✓ 新潟昭和が不祥事をオープンにするだけでなく、その排水処理まで見せる取組に驚いた。(学生・新潟市)
- ✓ CSR活動は経費がかかるため、企業は投資と捉える必要がある。そこから新たな価値が生まれれば…。(企業社員)
- ✓ 経費削減のあおりを真っ先に受けるのがCSR活動なので、継続困難なのが課題である。(企業社員)
- ✓ 地域との連携が課題で、企業と地元住民との連携を促進するには、行政の先導が必要。(企業社員・新潟市)
- ✓ 企業のCSRには地域の方々の理解が第一で、その活動を地域コミュニティーにしっかりと広げていきつつ、企業の理念やモチベーションを維持していくことが今後の社会には必要となる。(研究者)

前ページで特集したフォーラムにて事例発表された、各社のCSR取組を紹介します。また、同フォーラムの最後には、企業向けの公害資料館の研修利用が案内されましたので、併せて紹介します。

写真提供：クラレテクノ㈱

kuraray 化学企業子会社が展開した介護事業 CSR STORY 01

クラレテクノ㈱ 新潟営業所 のCSR事例

大手化学企業㈱クラレは、創業者である大原孫三郎氏の精神「世のため人のため」を受け継ぎ、「ランドセルは海を越えて」（＝自社でも生産する使用済みランドセルに文具を詰めてアフガニスタンの子どもたちへ送る取組）など、様々な社会貢献活動を実践しています。

そのクラレのグループ企業で、生産・物流業務などを請け負うクラレテクノ㈱の新潟営業所は、介護施設「ちゅーりっぷ苑」（グループホーム及びデイホームなど）「つばき」「さくら」の2施設）を運営しています。

きっかけは胎内市（当時・中条町）からの要請でしたが、当時異業種からの介護事業の参入が県内でもあまりない中で、地域への社会貢献の意味も考えて、平成16年から運営に着手しました。現在では、胎内市の取組をバックアップするため、認知症を相談できる「虹色カフェ」を2ケ月に1回のペースで開催するなど、地域の方に開かれた相談機能の一翼も担っています。

麒麟山 酒造会社が挑戦する地元の米づくり・森づくり CSR STORY 02

麒麟山酒造㈱のCSR事例

大河・阿賀野川と清流・常浪川が合流する麒麟山の麓近くで地酒造りを営んできた麒麟山酒造㈱は、これまで清酒の原料となる米と水に配慮した取組を実践することで地域に貢献してきました。

まずは地元の人々に愛される地酒づくりを目指して、安全安心で顔の見える原料米を使用したいとの思いから、地元の米農家と共に研究会を立ち上げ、20年前から地元の米づくりに注力してきました。こうして、当初は10％だった阿賀町産米の比率は、地元調達・自社生産などによって年々高まり、今年は100％近くになる予定とのことです。

さらに、日本酒製造に欠かせない常浪川の良質で豊かな伏流水を今後も清流に保つため、水源涵養機能を有する上流域の森づくりに5年ほど前から着手しました。新潟県の「企業の森アシスト事業」のもと、上流にある御神楽岳でブナ林の植林や下草刈りなどの管理を行う森づくりを、地元の森林組合と協力しながら社員も一緒になって実施しています。

写真提供：麒麟山酒造㈱

負の経験を乗り越える ── 企業の環境学習

一般社団法人 あがのがわ環境学舎

企業とNPO等が協働するCSR事例

昭和40年に表面化した新潟水俣病は、旧昭和電工㈱鹿瀬工場が阿賀野川に流した有機水銀が原因となって発生した公害で、同工場は現在、昭和電工㈱の関連会社である新潟昭和㈱となって操業を続けています。

一方、新潟県が推進する「阿賀野川え～とこだプロジェクト」を運営する一般社団法人あがのがわ環境学舎は、阿賀野川流域を舞台に環境学習プログラムを提供し、流域再生に向けた様々な取組を展開しています。

新潟水俣病公式確認50年を翌年に控えた平成26年、両者が協働して「現在の排水処理の仕組みを学ぶ工場視察プログラム」を開発し、地域住民や学生、企業社員や行政職員などを対象に環境学習を展開し始めました。企業と地域再生団体との協働は、全国の公害発生地の中では珍しく、大変注目されています。

NOW PRINTING

「新潟CSRストーリー」を創刊します!

中小企業から中堅・大企業まで、新潟県内企業のCSR実践事例やCSR関連情報をまとめた定期リーフレット「新潟CSRストーリー」を創刊します（※新潟県内の企業に配布予定）。また、同リーフレットで紹介する“キラリと光る”CSRの実践事例も募集しますので、興味をお持ちの担当者の方はぜひ下記までご連絡ください。

仕様：1号当たりA4・4ページ　発行回数：年3回発行予定　発行：新潟県
企画編集：新潟CSR研究会（あがのがわ環境学舎内）　TEL・FAX：0250-68-5424

CSR TRAINING 環境と人間のふれあい館を見て学びませんか?

リニューアルを経て展示がより充実!

福島潟のほとりにある「環境と人間のふれあい館」は、新潟水俣病と水環境をテーマにした施設です。今年1月のリニューアルオープンを経て展示がより一層充実しました。公害の発生から教訓を学びながら、環境保全や人権に対する意識を高めることができますので、企業社員や団体職員へのCSR研修の場としてもぜひご利用願います。

▼流域の暮らし

阿賀野川流域の暮らしや公害の全体経緯を写真や映像などを通じて学べる「阿賀野川シアター」。

▼発生過程等

経済発展の光と影の中で公害が発生した過程や、経済活動が生活環境に及ぼす影響を学べるスペース。

▼被害・教訓

水俣病被害の実態や歴史を年表や映像・各種資料などに整理し、公害の教訓を学べるスペース。

阿賀野川スコープから阿賀野川流域の立体地図を覗いて情報を読み取る

県立環境と人間のふれあい館 -新潟水俣病資料館-

お問合せ
住所　新潟市北区前新田新々囲乙364-7
（福島潟のほとり、「ビュー福島潟」の隣です）
TEL 025-387-1450 ／ FAX 025-387-1451
メール　fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページURL　http://www.fureaikan.net/

阿賀野川と共に生きた古老たちが語る、幻の聞き書き集が復刻！

本書は今から35年以上も前にガリ版刷りで発行された聞き書き集を、阿賀流域に暮らす現代の若者たちが甦らせた復刻版です。明治・大正期から昭和初期にかけての流域の暮らしや情景が、古老たちの独特の語りを通して、光と影の別なく甦ってきます。とりわけ「アカハラ(ウグイ)漁」の貴重な描写は圧巻の一言…ぜひご一読を(※昔や現在の流域の写真も掲載)！

写真撮影:山口冬人氏／場所:阿賀町津川

ヤツメウナギ(写真提供:旗野秀人氏)

「あがの岸辺にて 1981年新春号 復刻版」(企画・制作:新潟水俣病安田患者の会)

百歳を迎える渡辺参治さんの民謡を収めたアルバム

今年百歳を迎える渡辺参治さんが、米寿記念に制作した民謡集に、ボーナストラック(白寿で唄った博労唄&サントラ「阿賀に生きるのテーマ」)を追加したスペシャルバージョンのCDアルバム。ソーラン節やドンパン節、安田名物口説き節などを、年齢を重ねても艶やかさを失わない参治さんの唄声でぜひお楽しみください。

「渡辺参治さん百歳記念アルバム うたは百薬の長」(企画・制作:冥土のみやげ企画)

▲阿賀野川流域の5地域に住む6名(当時70～80代)の方々から聞き書きを行った。

●聞き書き集・CDのお問い合わせ先
冥土のみやげ企画・旗野秀人氏までご連絡ください。
☎ 090-3649-8945 ／ ✉ flag@cronos.ocn.ne.jp

写真(上)撮影:小原王明氏

ここで紹介した作文の全文は、下記サイトに掲載してありますので、ぜひご覧ください！

阿賀野川流域の情報発信サイト
阿賀野川え～とこだ！流域通信
http://www.aganogawa.info/ あかのがわ環境

第17回新潟水俣環境賞作文コンクール 受賞作品発表

主催:新潟水俣病被害者の会、新潟水俣病阿賀野患者会　後援:新潟県・新潟県教育委員会、新潟市・新潟市教育委員会、阿賀野市・阿賀野市教育委員会、五泉市・五泉市教育委員会、阿賀町・阿賀町教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX 新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

※受賞者の学年は作文執筆当時

〈優秀賞〉を受賞された皆さんと作品テーマ

◆小学校5・6年生の部

「動植物の声に耳をかたむけて」
樋口ひなたさん（上越市立東本町小学校5年）

「新潟の自然のすばらしさ」
岸田彩希さん（妙高市立新井中央小学校5年）

「犠牲になる人をつくらないで」
中田紗椰さん（妙高市立新井中央小学校5年）

◆中学校の部

「水俣病を学習して」
星野智哉さん（新潟市立南浜中学校1年）

平成28年6月12日、標記作文コンクールの表彰式が環境と人間のふれあい館で開催され、上記4名の方々が優秀賞を受賞されました。

同コンクールは、新潟水俣病被害者の「こんな苦しみは自分たちだけでたくさんだ。子や孫に同じ苦しみを味わわせてはならない」という切なる思いから、次代を担う子どもたちに身の回りの環境に関心をもってもらおうと、県内小・中学生を対象に毎年開催されています。

作文テーマは「新潟水俣病」や「身の回りの環境問題」などで、今年は263点の応募がありました。

イベントレポート

平成27年度 阿賀野川流域 ロバダン!マップ

ロバダン!(炉端談議)の開催状況(平成27年4月～平成28年3月)が一目でわかるマップ。平成27年度はFM事業&阿賀野川エコミュージアム合わせて、45件開催しました。

… 阿賀野川えとこだプロジェクト で開催したロバダン！

… 阿賀野川エコミュージアム で開催したロバダン！

1 工場見学ロバダン1
2 工場見学ロバダン2
3 工場物語ロバダン1
4 鹿瀬昔語りロバダン1
5 工場物語ロバダン2
6 鹿瀬昔語りロバダン2
7 工場物語ロバダン3
8 工場物語ロバダン4
9 工場物語ロバダン5
10 工場物語ロバダン6
11 鹿瀬昔語りロバダン3
12 工場物語ロバダン7
13 工場物語ロバダン8
14 草倉銅山写真ロバダン
15 あが環境学習ロバダン1
16 あが環境学習ロバダン2
17 阿賀野川物語ロバダン
18 阿賀町鉱山ロバダン
19 郷土芸能ロバダン
20 あが環境学習ロバダン3
21 工場見学ロバダン3
22 資料整備ロバダン

1 流域産品ロバダン
2 持倉銅山ロバダン1
3 持倉銅山ロバダン2
4 持倉銅山ロバダン3
5 持倉銅山ロバダン4
6 豪華な粗食弁当ロバダン
7 阿賀路の会ロバダン
8 持倉銅山ロバダン5
9 持倉銅山ロバダン6
10 草倉資料整備ロバダン1
11 流域森林活用ロバダン
12 持倉銅山ロバダン7
13 阿賀町糀文化ロバダン
14 流域地場産業ロバダン1
15 流域地場産業ロバダン2
16 持倉銅山ロバダン8
17 持倉銅山ロバダン9
18 持倉銅山ロバダン10
19 持倉銅山ロバダン11
20 持倉銅山ロバダン12
21 豪華な粗食ロバダン
22 草倉資料整備ロバダン2
23 持倉銅山ロバダン13